

【環境対策関連】

	意見の内容	市議会の考え方
1	国道 155 号の高架下にごみのポイ捨てが多く、真ん中のスペースに網を張れないか。	当該区間は、県が管理しているため、土木課から県に依頼しました。
2	指定されたごみの収集時間より、早く回収されていないか。	基本的に指定時間より早く回収することはありません。
3	ごみ集積所のカラス対策はどうなっているのか。	区長・区長補助員を通して、防鳥ネットを貸与していますので活用ください。市ホームページで「ゴミの出し方についてのお願い」の中で紹介していますのでご参照ください。
4	カラス対策でごみの回収 BOX を作ったが、設置場所がなく困っている。	固定物の設置は、道路、歩道、橋などにはできませんので、地域住民の話し合いで適切に設置してもらうことになります。
5	一番多い外国人の言語にごみ出し用パンフレットが対応していない。 外国人のゴミの出し方について困っている。	5ヶ国以外のパンフレットを作成するよう環境課に要望します。
6	空き家の件数は、今後増えていくのか。	少子高齢化と共に増えていくことが予想されます。
7	空き家対策はどうなっているか。	空家等対策協議会で対応を考えています。
8	市指定の専用袋に加え、雑がみ用のごみ袋は作らないのか。	現状のゴミ袋以外は考えていないということなので、雑がみなどは、月一回の資源ゴミの日に縛って出してください。
9	弥富駅周辺から国道 1 号までを禁煙エリアとして指定してほしい。	市の関係部署と連携し、環境美化を継続して対応していきます。
10	野良猫の子どもが増えるし、畑を荒らして困っているが、各自、各世帯での対策では限界があり、市で対応できないか。	現在、個人に対する対策支援はありません。各自での防護対策をお願いします。
11	野良猫の去勢手術は実費になるため、どの動物病院でも使える補助金を出してほしい。	補助金に関しては、今後環境課に提案します。
12	土葬が心配だがどうなっているか。	本市の墓地はすべて火葬後の遺骨を埋蔵する形式です。なお、土葬は条例で制限されています。

【地域関連】

	意見の内容	市議会の考え方
13	自治会に加入しない人が増えている中、市職員や外国人も加入しない人がいるが対策はないのか。	未加入の理由を把握し、それに応じた情報提供や加入促進策を講ずることが重要であると考えます。自治会活動の内容や加入のメリットを分かりやすく伝えたり、行事への参加を促したりすることと合わせ自治会内部についても業務等を見直したり、役員の負担を減らす工夫をするなども同時に進める必要があると考えます。
14	大藤学区にコンビニぐらいいはほしい。	今後の検討課題にさせていただきます。
15	亡くなった家族の口座手続きに苦労するため、対策はないのか。	法務局の法定相続情報証明制度により、金融機関など相続手続きに利用できます。
16	外国人生徒の卒業後の進路について心配があるが、支援はあるか。	義務教育段階では日本人と同様に就学案内が行われます。市内の学校では、語学支援員の配置や個別支援が行われています。就労支援については、ハローワークと連携した外国人向けの就労相談会などを実施しています。
17	外国人が増えているが、本市は大丈夫か。	制度面では一定の対応を進めています。地域との共生や生活支援の面では課題も残っていますが、外国人相談窓口を設置し、日本語教室の開催や多文化共生推進事業による交流イベントなどを行っています。
18	コロナワクチンは本当に安全だったのか。	日本で使用されたワクチン（ファイザー、モデルナなど）は有効性と安全性が確認されています。
19	公民館が老朽化しているが、他地区はどうしているか。	公民館の建替え、修繕に対し補助を行っていますので、区長・区長補助員を通して市民協働課までご相談ください。
20	地域のイベントが減っているの、地域のためにやってほしい。	各市民団体が様々なイベントを企画しています。積極的にご参加いただいたり、各地区の自治会でも企画検討をお願いします。

【福祉関連】

	意見の内容	市議会の考え方
21	無料弁護士相談で受けられる相談の範囲はどうなっているのか。	相続、借金、離婚など、法律に関する相談を無料で利用できます。
22	日中独居の認知の高齢者に支援が届かないので、見守り支援を行ってほしい。 認知症でも暮らし続けられる支援を行ってほしい。	「認知症初期集中支援チーム」を弥富市地域包括支援センターに設置しています。家族や地域住民からの相談によって、認知症の方を発見したら、すぐに支援を開始しますのでご相談ください。

23	夜間の急病など、高齢夫婦の生活不安解消のための対策を行ってほしい。	夜中の急病などは、すぐに救急車を呼んでください。高齢に伴う心配ごとなどは、地域包括支援センターにご相談ください。
24	高齢者の楽しみを作ってほしい。	福寿会やふれあいサロンなどの集いや生涯学習講座の各講座等にご参加ください。
25	年代や障がいの有無を問わず、住みやすい弥富市を作ってほしい。	すべての世代、障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう行政と市議会が連携しながら引き続き取り組んでいきます。
26	障がい者受け入れ可能とされている病院や歯科医院に丁寧な対応をされなかったため、受け入れ可能な病院や歯科医院の本市の一覧表を作ってほしい。	本市担当課と連携し改善に向けて進めています。
27	身体障がい者用の補装具の補助金を増やしてほしい。	必要とされている方の実態把握も含め福祉課に検討する旨を伝えます。
28	医療費の抑制について現状の取組と今後の方向性は、どのようになっているのか。	現状として、レセプト点検の強化や重複、頻回受診者への訪問指導、ジェネリック医薬品の使用の促進、特定検診、保健指導、生活習慣病の予防など将来的な医療費の削減を目指しています。
29	精神障害者医療費の増加に対し、市の対策はどのようになっているのか。	精神疾患の早期発見・早期支援に向けた相談体制やストレスケアの普及啓発など、医療費抑制に直結する予防策の強化を推進していきます。
30	子ども医療費無償化の悪用に対し、市の対策はどうなっているのか。	悪用防止の啓発に努め、モラルの向上を目指します。
31	民間保育所移管への不安があるが、保育の格差など子どもは守られるのか。	民間保育所移管により保育の選択肢が増えました。市内の各学区には、公営の保育所もありますので従来の保育を希望する方は、児童課にご相談ください。
32	定員の関係で、児童クラブに兄弟で入れない場合があるため、定員を増やしてほしい。	児童クラブの利用は増加しており、定員を超えた場合は、養育の必要度の高い児童から優先的に決定するため入所できない場合があるので、保護者のニーズに応えられるよう取り組んでいきます。
33	児童クラブの長期休暇の預け入れを午前 7 時 30 分からにしてほしい。	現時点では早朝受け入れは行っていないため、保護者のニーズに応えられるよう取り組んでいきます。

【公共交通関連】

	意見の内容	市議会の考え方
34	デマンド交通のエリアスポンサー（協力企業）の募集は、どうなっているのか。	市内で広く募集をしています。詳細や条件が多岐に渡るため、市民協働課へお問い合わせください。
35	デマンド交通にペットの乗車は可能か。	乗合のため、動物はケージに入れて膝の上や荷台におけるサイズであれば乗車は可能です。但し、盲導犬をはじめとする「身体障害者補助犬」については制限はありません。
36	子どもの習い事にデマンド交通の利用は可能か。	小学生だけの乗車利用も運行時間内であれば可能です。なお、保護者同意のうえ会員登録が必要で、乗車予約は保護者からお願いします。
37	公共交通の 75 歳以上の運賃は、無料にならないか。	公共交通の維持には様々な経費がかかるので、利用者の受益者負担とし、平等性を担保しています。
38	運転免許証返納後を助けるサービスはどうなっているのか。また、きんちゃんバスの代替手段はどうなっているのか。	75 歳以上の運転経歴証明書などの交付を受けた方は介護高齢課にお持ち頂くと高齢者等福祉タクシー料金助成利用券を配布しています（交付日より 3 年間）。また、令和 7 年 10 月からデマンド交通「チョイソコやとみ」の実証実験が開始されますのでご利用ください。
39	一人暮らし高齢者の買い物などをサポートするサービスはどうなっているのか。（買い物難民対策）	本市には要支援要介護等の方に対しささえあいセンターの買い物支援サービスがあります。詳細は社会福祉協議会にお問い合わせください。また、民間事業者による移動スーパーが令和 7 年 4 月から運行されています（販売依頼は予約制）。介護高齢課にお問い合わせください。
40	きんちゃんバスとデマンド交通の予算の内訳はどうなっているのか。	令和 7 年度予算として、きんちゃんバスは 8,700 万円（4 月から 9 月は現状どおり）、デマンド交通は 4,200 万円（10 月からの半年）です。
41	再編後のきんちゃんバスの発着場所を総合福祉センターまで延長して欲しい。	南部ルートと北部ルートについては、一部の便は総合福祉センターを発着場所としています。しかし、便数等も限られているので「チョイソコやとみ」と併用して利用ください。なお、東部ルートは全線運休となるため「チョイソコやとみ」をご利用ください。
42	デマンド交通の利用方法に不安がある。	乗車体験をして慣れてほしいと思います。なお、不明な点等は市民協働課へご相談ください。

43	デマンド交通の車両は3台配置予定だが、エリアに1台で大丈夫か。	当初の想定では問題ないと考えています。しかし、利用者が増大した際には増車の検討を行います。
44	デマンド交通は弥富市民しか利用できないのか。	会員登録すれば、市外在住者で、市内に在勤・在学されている方の乗車利用も可能です。